

劇場版 MAJOR メジャー 友情の一球（ウイニングショット） (2008)

メディア 映画 アニメ
ジャンル 青春 スポーツ
製作国 日本
色彩 Color
時間 80分
初公開日 2008/12/13
公開情報 東宝

【解説】

1994年から週刊少年サンデーで連載、TVアニメ化もされた人気コミック初の劇場版となる青春スポーツドラマ。本作では、原作で語られなかった空白期間である主人公・吾郎の少年時代が明かされ、野球を通して困難に立ち向かう吾郎たちの友情や家族愛が描かれる。監督は「ロックマンエグゼ」シリーズで演出を手掛ける加戸誉夫。週刊少年サンデー創刊50周年記念作品。

エースで4番の吾郎率いる少年野球チーム“三船ドルフィンズ”は、激戦の末、強豪“横浜リトル”から勝利を収める。しかし、吾郎はこの試合で右肩を痛め、さらにプロ野球選手の父・英毅のチーム移籍に伴って、仲間に別れを告げぬまま突然福岡へ転校してしまうのだった。そして、吾郎は新天地で友達を作るため、父から告げられた“肩が治るまで投球しないこと”を条件に、地元の名門“博多南リトル”へ入団する。さっそく持ち前の野球センスで、強打者として活躍する吾郎。チームも県大会を勝ち上がり、全国大会優勝候補の“北九州リトル”を決勝に迎える。一方、吾郎の去ったドルフィンズも“野球を続けていればまた吾郎に会える”と一念発起し、神奈川県大会を勝ち進んでいく。

【クレジット】

監督 加戸誉夫
アニメーション制作 XEBEC
演出 榎本明広
孫承希
ながはまのりひこ
高橋秀弥
加戸誉夫
絵コンテ 加戸誉夫
榎本明広
製作 亀井修
島谷能成
常田昭雄
山本進
千葉龍平
小野直路
八木正男
企画 白井康介
藤原正道
松山彦蔵

柴田幸嗣
堀健一郎
亀村哲郎
斉藤裕

**エグゼクティブプロ
デューサー** 山川恵一

市川南
宮脇祐介
石井真人
高谷与志人
松本寿子
中沢利洋

プロデューサー 古市直彦

**アシスタントプロ
デューサー** 根岸智也

**アニメーションプロ
デューサー** 西沢正智

原作 満田拓也

原案協力 都築伸一郎
林正人
袖崎友和

脚本 土屋理敬

**キャラクターデザイ
ン** 高見明男

山岡信一
加藤はつえ

総作画監督 高見明男
岡勇一

**キャラクターデザイ
ン補佐** 堀たえ子

作画監督 北田勝彦
山岡信一
石川健朝
石原満
堀たえ子
乗田拓茂
明珍宇作

3DCG制作 小学館ミュージック&デジタル エンタテインメント

3DCGプロデューサー 齋藤雅弘

3DCGディレクター 海老名巧

アクション作画監督 浅賀和行
北田勝彦

プロップデザイン 浅賀和行
北田勝彦

(『週刊
少年サン
デー』連
載)

| | | | |
|-----------|-----------------|-------------------|------------------|
| 美術監督 | 小濱俊裕 | | |
| 美術設定 | 塩澤良憲 | | |
| 色彩設定 | 伴夏代 | | |
| 撮影監督 | 鎌田克明 | | |
| | 青木孝司 | | |
| 編集 | 辺見俊夫 | | |
| 音響監督 | 高寺たけし | | |
| 音響効果 | 川田清貴 | | (スワラ・プロ) |
| 音響プロデューサー | 南沢道義 | | |
| | 西名武 | | |
| 音響制作 | HALF H・P STUDIO | | |
| 音楽 | 中川幸太郎 | | |
| 音楽プロデューサー | 田中統英 | | |
| 主題歌 | レミオロメン | | 『翼』 |
| スーパーバイザー | 熊谷玄典 | | |
| | 植田文郎 | | |
| 声の出演 | くまいもとこ | 茂野吾郎 (少年期) | |
| | 森久保祥太郎 | 茂野吾郎 (青年期) | |
| | 大浦冬華 | 佐藤寿也 | |
| | 釘宮理恵 | 小森大介 | |
| | 笹本優子 | 清水薫 | |
| | 咲野俊介 | 茂野英毅 | |
| | 野田順子 | 茂野桃子 | |
| | 子安武人 | 本田茂治 | |
| | 落合弘治 | ジョー・ギブソン | |
| | 蓮佛美沙子 | 古賀恵 | (ゲスト出演) |
| | 世界のナベアツ | Sekai No Nabeatsu | 鹿児島リトル監督 (ゲスト出演) |
| | エド・はるみ | Edo Harumi | 場内アナウンス嬢 (ゲスト出演) |